

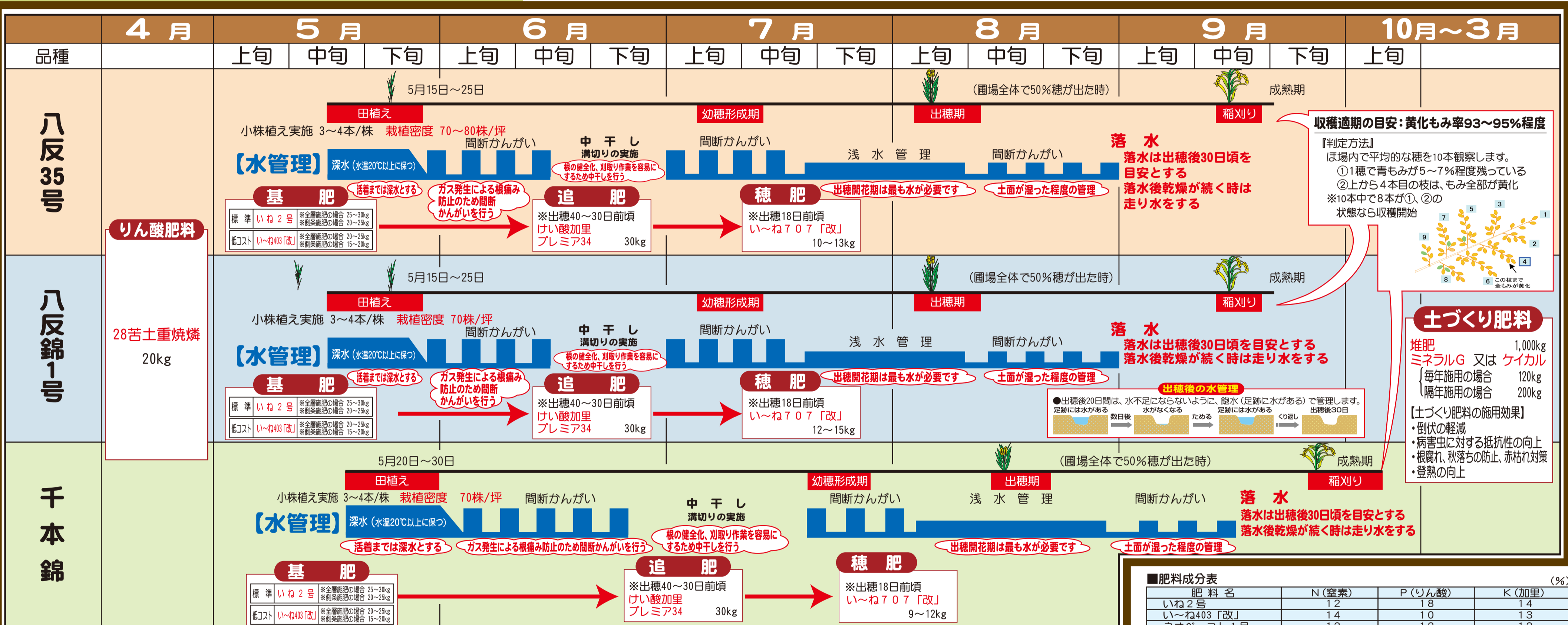
米品質向上のポイント

- ① 堆肥・土づくり肥料を施用し地力を高める
- ② 適正な植付本数の実施（過剰生育の抑制）
- ③ 活着後の間断かんがいの実施
- ④ 中干しの実施（過剰分けつ抑制）
- ⑤ 早期落水をしな（出穂後30日を目安。乾燥が続く時は、走り水の実施）

植付株数の目安

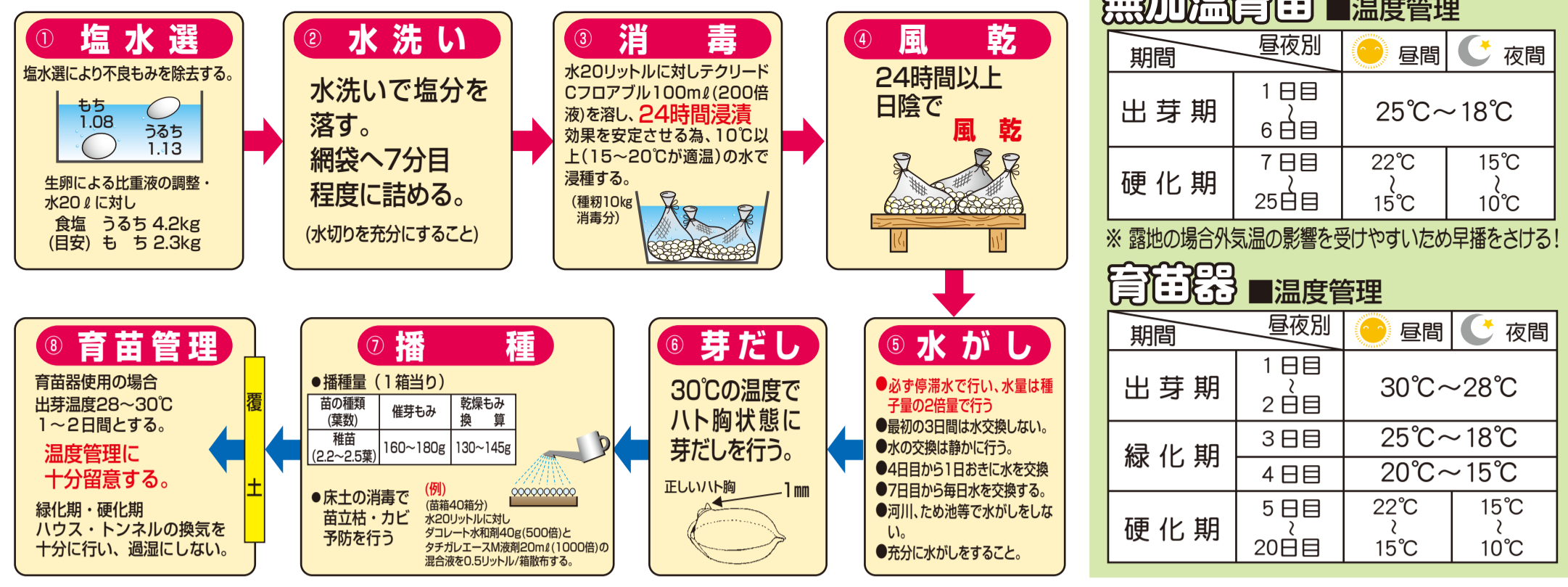
株間(cm)	mあたり株数(株)	坪当たり株数(株)	箱数(箱/10a)
15	22	70	20

生産基準と管理(使用量10a当たりの目安)



水がしと播種日の目安(例) 種子消毒

品種	水がし開始時期	播種時期	田植時期
八反35号	4月10日	4月20日	5月15日
八反錦1号	4月10日	4月20日	5月15日
千本錦	4月20日	4月30日	5月20日



育苗温度管理の目安

無加温育苗 ■温度管理

期間	昼夜別	昼間	夜間
出芽期	1日目	25℃~18℃	
	6日目	25℃~18℃	
硬化期	7日目	22℃	15℃
	25日目	15℃	10℃

育苗器 ■温度管理

期間	昼夜別	昼間	夜間
出芽期	1日目	30℃~28℃	
	2日目	30℃~28℃	
緑化期	3日目	25℃~18℃	
	4日目	20℃~15℃	
硬化期	5日目	22℃	15℃
	20日目	15℃	10℃

除草剤散布前後のポイント

除草剤の効果

一般的に水田に散布された除草剤はいったん水に溶けて3~4日かけて土壌に吸着され、土壌表面に薬剤の「処理層」(およそ土壌表面の0cm~3cm)を作り、小さな雑草を枯らしたり、発芽させない仕組みです。

使用上の留意点

- ① 代かきは丁寧に均平度を保つこと。土壌が均平でない深い所に薬剤が多く溜まり、薬害の原因になる場合があります。また、湛水深が不足すると効果ムラの原因となります。代かきを丁寧にし、畦の補強をして水深をしっかり保てる圃場環境の整備をしましょう。
- ② 雑草発生前の早めの散布をしましょう!
- ③ 除草剤散布後は、3~4日間は湛水状態を保ち補植は行わない。効果を安定させるため、3~4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水や掛け流しを避けましょう。除草剤散布後の補植は水田内を歩行することにより処理層を壊し、効果フレの原因となります。また、補植した苗の根が直接処理層に触れるため、薬害の原因となります。

この大きさは防除は難しい!

除草剤散布前に十分な湛水深(3cm~5cm)を確保した後、散布しましょう。

除草剤の使い方

除草剤使用時期	田植前後日数	品名	使用量(10a)	使用時期
低コスト(一発処理)	-7	バッチリ (1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ)	1kg・500ml・400g	田植直後~ノビエ2.5葉期まで(田植後30日まで)
標準(体系処理)	-	サキドリEW エリジャンジャンボ	500ml・300g	植代後~田植前7日又は、田植直後~ノビエ1葉期まで(田植後30日まで)
高機能(体系処理)	-	サキドリEW エリジャンジャンボ	1kg・500ml・400g	植代後~田植前7日又は、田植直後~ノビエ1葉期まで(田植後30日まで)
難防除雑草対策	-	ゼータタイガー (1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ)	1kg・500ml・300g	田植直後3日~ノビエ3葉期まで(田植後30日まで)

基幹防除

薬剤名	病害虫名	使用量	使用時期
アイゲットプリンズ 粒剤10	いもち病、イネドクムシ、イネミズシ、ウンカ類	50g/箱	緑化期~田植当日
ツインターボ フェルテラ粒剤	いもち病、イネドクムシ、イネミズシ、ウンカ類	50g/箱	は種時(覆土前)~田植当日
ピルタープリンズ グレーラム粒剤	いもち病、イネドクムシ、イネミズシ、ウンカ類	50g/箱	田植3日前~田植当日

病害虫防除

薬剤名	病害虫名	使用量	使用時期
シクロバク 粒剤	イネミズシ、イネドクムシ、イネツルシ	100g/箱	60日前まで
カメムシ類・ウンカ類 スターグル液剤10	カメムシ類、ウンカ類	1000倍 60~150L	収穫7日前まで
イモチ病・白葉枯病 オリスエース 粒剤	いもち病、白葉枯病	3kg	収穫14日前まで
イモチ病の発生時は たちに散布	いもち病	1kgあたり1g散布	播種14日後まで

肥料成分表

肥料名	N(窒素)	P(リン酸)	K(加里)
いね2号	1.2	1.8	1.4
いね403「改」	1.2	1.8	1.4
ネオベスト1号	1.4	1.2	1.3
ネオベストSR502	1.5	1.0	1.2
けい酸加里プレミアム34 (ケイ酸34.0 亜鉛0.4 亜硫酸1.1)	-	-	2.0
いね707「改」	1.7	0	1.7

中干しの目安

品種	有効茎数の目安
八反35号	16~18本/株
八反錦1号	20~22本/株
千本錦	15~17本/株

穂肥の施用目安

品種	施用時期	穂肥の施用量の目安
八反35号	出穂18日前	適正葉色値 3.5~4.0 肥料名 いね707「改」 施用量 10~13kg
八反錦1号	出穂18日前	適正葉色値 3.0~3.5 肥料名 いね707「改」 施用量 12~15kg
千本錦	出穂18日前	適正葉色値 3.5~4.0 肥料名 いね707「改」 施用量 9~12kg

後期除草剤(残草対策)

品名	使用量(10a)	使用時期	使用方法
ヒエクリーン1キロ粒剤	1kg	田植後15日~ノビエ4葉期(収穫45日前まで)	湛水散布
クリンチャージャンボ	1袋20~(1kg)	田植後15日~ノビエ3葉期(収穫40日前まで)	湛水散布
バサグラン粒剤	3~4kg	田植後15~55日(収穫60日前まで)	落水散布又はごく浅く湛水散布
サンパンチ1キロ粒剤	1kg	田植後15日~ノビエ3.5葉期まで(収穫60日前まで)	湛水散布
クリンチャーバスマE液剤	薬量1000ml(100倍液)	移植後15日~ノビエ5葉期(収穫50日前まで)	落水散布又はごく浅く湛水散布
クサナム・イボクサが	薬量50ml~100ml(2000~1000倍液)	移植後30日~草丈30cmまで(収穫60日前まで)	落水散布又はごく浅く湛水散布

水田からの濁水流出による河川等の汚濁防止について

水田からの濁り水が河川に流出すると、農業者にとって大切な水田の土や水などを失うだけでなく、河川が濁り、水生生物の餌場である岩ゴケの生育を阻害するなど、環境にも負荷をかけることになります。次のことを心がけ、環境にやさしい農業に取り組みしましょう。

3つのポイント

1. 畦畔からの水漏れを防止しましょう!
2. 代かき・田植時に排水口から漏水がないよう確認しましょう!
3. 浅水で代かきし、田植前の落水を行わないようにしましょう!

肥料・農薬・生産資材のお求めは、JAグリーン・配送センター・各支店資材店舗をご利用下さい。